

総務省 放送を巡る諸課題に関する検討会  
地域情報分科会 発表資料

# 地方局の人材確保と育成の課題

2017年3月2日(木)  
名古屋テレビ放送株式会社

---

1. 名古屋テレビ放送の概要
  2. 採用状況の変化
  3. 人材育成
    - ①地域情報の確保、②災害対策、③全社的な取り組み
  4. 次世代への対応
  5. 人材確保・育成への取り組み
  6. まとめ
-

# 1. 名古屋テレビ放送の概要

- 開局 1962年（テレビ朝日系列）
- 放送エリア 愛知、岐阜、三重の3県
- 事業 地上テレビジョン放送、CS放送、イベント、4K8Kの番組制作、番組のネット配信ほか
- 売上高 約240億円（2015年度）
- 従業員 社員270人  
➢グループ会社、外部スタッフを含め約1,000人
- 地域経済 輸出企業を中心に比較的堅調



# ★ 名古屋テレビ放送等の従業員数



※人員数は2017年3月1日時点

区分	人数	備考
名古屋テレビ放送	270名	
名古屋テレビ映像	142名	主に番組の制作/技術等
名古屋テレビ事業	112名	放送業務や設備管理等
名古屋テレビネクスト	12名	CS放送(エンタメ〜テレ/ダンスチャンネル)
上記以外スタッフ	約500名	非常駐を含む
総計	約1000名	

上記の内、番組制作を主な業務とする人員は400名余りとなっている。

ローカルドラマを継続して制作、今年は4Kで撮影するなど新しい技術/分野にも積極的に取り組んでいる。

## 2. 採用状況の変化

### ■ 傾向

- 20年ほど前には数千名程度の応募があったものの、長期的には減少傾向
- 2015年度にウェブサイト応募への移行で応募数が増えたものの再び減少
- 新卒採用は5～6人だが、他業種との競争が激化

### ■ 課題

- 新たな事業領域が広がっていて従来と違う人材が必要に(専門性がより必要)
- 動画配信など通信系の業務が増加傾向にあるが、  
通信系技術を学んだ人にとってローカル放送局は就職活動の対象にならず採用が難しい

# 3. 人材育成 ①地域情報の確保

## < 自社制作番組の状況 >

	タイトル	基本放送時間			
ベルト番組	ドデスカ! 第1部	月火水木金	6:00	~	6:45
	ドデスカ! 第2部	月火水木金	6:45	~	8:00
	UP!	月火水木金	18:15	~	19:00
レギュラー番組	BOMBER-E	火	0:55	~	1:25
	1個だけイエロー	水	0:20	~	0:50
	ザキとロバ	木	0:20	~	0:50
	デルサタ	土	6:00	~	7:55
	昼まで待てない! いいコト聞いた	土	11:00	~	11:45
	ウドちゃんの旅してゴメン	土	16:55	~	17:25
	へポット!	日	7:00	~	7:30
	Spoken! (月1回)	日	1:10	~	2:10

月～土の午前6時から約2時間にわたって地域情報番組(「ドデスカ!」、「デルサタ」)を生放送しているほか、月～金の夕方帯にもニュース情報番組(「UP!」)を生放送しており、これらのみの合計で週15時間40分の地域情報を放送していることになる。今後、地域情報を伝えるために、さらに放送時間を増やしていくことも検討している。



### 3. 人材育成 ①地域情報の確保

#### ■制作

- ーバラエティ番組、ローカルドラマのレギュラー編成で地域に根付いた番組制作
- ー従来はほとんどOJTだったが、法律、契約書実務や著作権といった権利関係等の知識習得のため研修会を開催

#### ■技術

- ードラマの4K撮影/編集、8K映像制作等、次世代に向け積極的な取り組み
- ーノウハウは中部地区の系列各局と共有

#### ■報道・情報

- ー名古屋地区で唯一、午前6時～8時の地域情報番組を放送する等「地元密着」を推進
- ー「報道ステーション」や系列で分担する海外拠点にスタッフを出す等系列内でも人材育成
- ーANN記者研修への参加

## ■災害時に地域住民の生命と暮らしを守るのは最大の使命（放送法第108条）

—BCP(事業継続計画)を立てて対策

—設備等

- ▶ 備蓄燃料の増量、三重県南部尾鷲市への取材者と衛星中継車の常駐、臨時ヘリポートの新設、非常用放送波の受信施設追加等  
災害時に放送波が途絶えることのないよう設備投資  
一方で、非常時には通信での映像配信や情報提供もできる体制の構築へ

—定期的な訓練

- ▶ 毎日、災害発生を想定した緊急放送と初動の訓練(報道局)
- ▶ ANN系列との災害対応訓練(報道局)
- ▶ 南海トラフ地震等の具体的事案を想定した非常時参集訓練(全社)  
⇒ 全社員が映像を撮って集約も

—非常災害対策マニュアル(系列の各種マニュアルをまとめた地震マニュアル)



### 3. 人材育成 ③全社的な取り組み

#### ■入社時の研修(約3ヵ月)

—コンプライアンスなど社会人として最低限必要なことと会社の業務全般を教える

#### ■入社6年目研修

—他業種(地方銀行)の同年代と1泊で研修

⇒業界思考で固まりがちなのを客観的な視点で見られるように

#### ■入社10年程度のうちに2つ以上の職種を経験

#### ■メンタルヘルスやハラスメントなどの研修の定期的な実施

#### ■オンブズ6の開催(第三者機関)

#### ■民放連が実施する各種研修にも積極的に参加

—2016年5月23日に開催された諸課題検討会の民放連説明等

# 4. 次世代への対応



## 4K／8Kについて

- 「近い将来、メ〜テレによる4K放送が可能になる」との前提に基づき、対応を積極的に進める

- 【具体的な方針】
- ①2Kレギュラーコンテンツの4K化を推進
  - ②4K／8Kの伝送路の研究を推進

### 「名古屋行き最終列車2017」

2016年度1月クール 月曜～木曜 24:20～24:50 4夜連続、及び2時間スペシャル

- ✓ これまでに蓄積した2K／4Kによる制作ノウハウや技術力を基にワークフローを確立、メ〜テレ初の4Kドラマ制作を行う
- ✓ 撮影機材を見直すことで厳しいフォーカスを現場で精密に調整。編集室も既存Quantel RIOの4K化を視野に検討中
- ✓ 技術スタッフはフォーカスマン1名増、撮影日数も2Kプラス1日の5日を想定。編集はHDRまで行くと倍以上の時間が必要

### 「にっぽん4K巡り」(ひかりTV用タイトル)

2016年10月29日 ひかりTV4Kで放送予定 ※「UP！」の放送は、9月16日、23日を予定

- ✓ ひかりTV／アイキャストから共同制作の依頼を受け、4K番組「にっぽん4K巡り」(ひかりTV用タイトル)30分を制作
- ✓ 本企画は、「UP！」の特集「はまちゃんの湯めぐり散歩」の2回を4K収録、編集し「UP！」では2Kにダウンコンバートして放送、「UP！」での放送終了後、2回分の素材を再編集して、4Kの30分パッケージとして納品
- ✓ 今回の制作過程で発生する特集2作品(2K)は、当社動画配信でも「UP！」の切り出し動画として有効活用

### 「8Kで魅了！躍動！ダンス！」一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)

- ✓ 名古屋テレビネクストなどダンスに強みを持つグループ会社と連携をして躍動感あふれるダンスを8Kで撮影
- ✓ 撮影機材はメーカーから借用予定、編集は自社の簡易編集機で行うことでローカル局の8K制作を実証する

#### ※中部ブロック局との4Kによる取り組み

- ✓ 2016年3～4月にかけて中部ブロック局と(主に技術横連携として)桜をテーマに各地で4K撮影を実施
- ✓ その映像をメ〜テレ4K編集室で編集しHDRコンテンツを制作
- ✓ 新潟テレビ21(UX)提案のA-PAB検証コンテンツが4K部門で採択されたが、これもメ〜テレ含めブロックで取り組むことを目指す

# 4. 次世代への対応

## 次世代サービス(=放送通信連携)について

➤ ハイブリッドキャストは放送通信連携ツールとして注視

### ハイブリッドキャストを使用した4K映像のライブストリーミング実験 ～「メ〜テレ秋まつり2016」で公開デモンストレーションを実施～

- ✓2016年9月24日(土)と25日(日)の2日間、ハイブリッドキャストを使った「4Kライブストリーミング」の公開デモンストレーションを実施
- ✓3台の4Kカメラでライブ制作を実施、その映像をステージ奥設置の4K大型ビジョンに上映するとともに4Kライブストリーミングして会場設置のハイブリッドキャスト対応4Kテレビでも受信。ストリーミングのフォーマットはHEVC10Mbps

➤ 動画配信について

- 戦略の策定と推進は編成局が主管
- 全自社制作ドラマ・バラエティで有料動画配信SVOD/TVODを狙う
- 情報系番組のコーナーを無料配信し、将来的にはAVODに
- 自社での有料動画配信プラットフォーム運用は当面実施せず
- 自社プラットフォームによるキャッチアップ配信(AVOD)を目指す
- TVerでメ〜テレコンテンツの配信トライアルを実施

TVer	「三人兄弟2」をテレビ朝日の枠内でキャッチアップ配信
Abema TV	「ザキとロバ」、「ゆるしゃち」のアーカイブ作品の配信 名古屋テレビネクストでは「モてるの法則」「妄想のススメ」などの販売実績
GYAO!	①「ザキとロバ」(2016年4月以降継続中) ②「まかない荘」(配信済み) ③「三人兄弟」(配信済み) ④「食べあるキングの推しメシ」を自社セールスで配信
その他	「ゆるしゃち」のHulu配信など、既に実績のある配信は、今後も継続

# 5. 人材確保・育成への取り組み

## ■ 応募増に向けた試み

- ① 民放連が実施するローカル局の新卒者採用支援事業への積極的参加
- ② 中京広域圏民放4局の合同説明会を開催、  
業務内容、業界の雰囲気、やりがい等を直に伝える
- ③ 社員と学生が日常的に接することができる場の確保  
地元大学(名古屋大学/南山大学)で社員を講師とした特別講義を実施  
⇒ 更に拡大を目指す
- ④ 資格、スキルを持った人など中途採用にも積極的に取り組み



## 5. 人材確保・育成への取り組み

### ■働きやすさ向上に向けた取り組み

- 今年度より、多様な働き方の推進に向けた取り組みに本格的に着手し、フレックス勤務制度の拡大、休職制度の見直し、退職者の再雇用制度の新設等、諸制度を充実

### 今年の年頭挨拶で 経営トップ自らが「ダイバーシティ」の実現に本格的に取り組むことを宣言

#### 【宣言の概要】

今年、メ～テレは「多様性」を意味する「ダイバーシティ」の実現に本格的に取り組めます。手始めに、多様な働き方を選べるように、配偶者の転勤などに対応する「特別休職制度」と、いったん退職した社員が一定の条件のもとで復職できる「再雇用登録制度」を1月1日付で設けました。

いろいろな考え方やアイデアを持つすぐれた人材を確保するためにも、多様な働き方を取り入れていかなければなりません。

また、長時間労働の改善は、健やかに仕事をするための基礎であり、待ったなしの経営課題です。生み出した時間を使って世の中の新たな動きをつかむ。家族と過ごす時間を充実させ、会社とは別のコミュニティーで役割を持つ。発想の根っこに生活者の視点を持つのは、地域に根ざす会社として、ローカルを生きるテレビ局として、必要不可欠です。

時間の使い方を自ら考え、新たな価値を生み出すような仕事のやり方を促がす制度の導入も検討していきます。

## 5. 人材確保・育成への取り組み



■放送局の制作現場に社員以外のスタッフは欠かせないが、確保が年々困難に

- 資本関係のあるグループ会社とは、  
役割分担をして人材確保・育成をグループとして実施
- 名古屋に本社を置くグループ外の制作会社に対しては勉強会などを定期的に実施して 日常的な意思疎通  
人材確保・育成にも協力しているが、志望者は減っている模様
- 放送エリアにおける外部スタッフの確保は近年ますます厳しく  
⇒ 東京の制作会社から人材を確保しているものの、人材確保は難しくなる可能性

- 「地域情報の確保」「災害対策」が地方局の使命であり、そのための人材育成に引き続き注力していく。
- 業務のスキルアップはもとより、全社的な観点から研修活動などをおこなっている。
- 若者のメディア接触やメディア観の変化もあり、地方局においては今後、人材確保が更に難しくなる可能性。
- 業界（民放連）、地域（名古屋）などでまとまって、仕事の魅力を発信する機会を増やす。



羊も。狼も。

メ〜テレ



ご清聴ありがとうございました



## 当社は、民放連主催の各種研修会等に積極的に参加

事業名称	目的
放送人基礎研修	新たに放送の仕事に携わることになった社員を中心に“放送の自主・自律”“法規制と自主規制”など放送倫理に関する基礎的事項を習得してもらう。
情報セキュリティ対策に関する説明会	重要インフラ分野に位置付けられる民放各社の情報セキュリティ対策。
テレビ制作技術研修会	テレビ制作技術の基礎と実践的知識の習得。
テレビ技術研修会	テレビジョン技術に関する基礎理論の習得。
音声技術研修会	音声収録・デジタル音声技術に関する講義と生演奏および音楽素材等を使った実習による基礎的ミキシング技術の習得。
報道研修会	現在の民放報道が直面する課題について考え、参加者が抱える日ごろの悩みや問題意識を少人数で討議し、議論を深める。
テレビ営業ゼミナール	民放テレビ各社の営業担当者などを対象に、“テレビを取り巻く社会状況”や“広告主のテレビに寄せる期待・要望”を再認識し、今後の営業活動に活かしていく。
ローカルテレビ営業開発セミナー	営業面を切り口とした講演などを通して、ローカルテレビ社の営業担当者の知見を高め、営業活動の活性化を図る。
ラジオ営業研修会	ラジオを取り巻く最新事情や仕事への取り組み方を学び、それぞれの営業活動に活かしてもらう。
著作権研修会	放送分野における著作権の基礎知識の習得。
労務研修会	会員各社の労務・人事施策に影響を及ぼす労働関連法制の改正等について、労務・人事部門担当者の研修と各社が対応する際の一助としてもらう。
経理研修会	財務・経理部門の方々への研修と会員各社の財務・経理実務に影響を及ぼす税務・会計上の制度変更等への対応の一助としてもらう。
テレビ回線実務研修会	回線業務の実務経験が浅い担当者を対象に、講座、演習を通じて端末の操作方法に習熟し、共同利用のテレビ回線の仕組みや運用ルールなどの知識を深める。
民放経営研究会	民放経営を考えるうえで必要な知識の修得をはかり、今後の民放業界の発展に寄与する。

## 1. 新卒者採用業界研究「ローカル局の魅力」webサイト

- ◇ 2016年12月1日、マイナビ2018のwebサイト「特集－業界特集」に特設サイトを開設
  - ローカル局で働く魅力や民放業界に関する情報を新卒者に伝えるため、「ローカル局の魅力」PR動画、ローカル番組出演者からのメッセージ動画、「先輩社員の1日」体験動画、「民放の基礎知識」などを掲載

## 2. 説明講座「知ってほしい！ローカル局の魅力」

- ◇ 2017年3月11日(土)開催のマイナビ就職MEGA・EXPOにおいて、説明講座を開催
  - 若手制作者と人事担当者が「ローカル局で働く魅力」を余すところなく語る
  - 「ローカル局の魅力」説明パンフレット、統一感のある新卒者採用パンフレット、参画社の新卒者採用関連情報一覧表の配布